

自立と分散で日本を変えるふるさと知事ネットワーク

第7回知事会合

配 布 資 料

(石 川 県)

平成25年7月30日

# 石川県における炭素繊維分野のこれまでの取り組み

## 石川から世界に素材革命を！



従来の自動車、飛行機から、  
鉄道や船舶、建築材料、車椅子など、  
**大幅な用途の拡大(社会実装)**には  
生産コストを大幅に削減する技術の開発と  
環境に配慮した植物由来の新たな素材の  
開発が必要



輸送機器



建築材料



福祉機器



K.I.T. 金沢工業大学



DaiwaHouse



### [一大研究開発拠点]



H25

文科省の大型事業に採択  
総額約20億円

### [人材の集積]

文科省  
地域イノベーション  
事業の採択

H24.6

県内外より研究者・  
コーディネータを招聘  
5年総額6億円

### [研究施設]

工業試験場に  
次世代センター  
を設置

H23.4

文科省の拠点  
整備事業に採択  
10億円規模



### [資金]

次世代ファンド  
の創設

H22.7

炭素繊維の研究  
開発を支援  
全国最大130億円

いしかわ  
炭素繊維  
クラスター  
構想開始

H21.8

繊維産業の集積

機械産業の集積

一村産業  
グループ



バス等に使用される炭素繊維  
シートの量産技術の開発  
経産省サポイン事業に採択  
(H23~H25:3年1億円)

コマツ



炭素繊維の板状の素材を  
プレス加工する機械の開発  
文科省A-STEP事業に採択  
(H24~H27:4年5千万円)

小松精練



炭素繊維

耐震補強用建築材料(筋  
かい)の量産技術の開発  
経産省イノベーション拠  
点立地推進事業に採択  
(H24:1年6千5百万円)

# 保育所を「子育て支援の拠点」に～石川県の取組み

## 少子化の背景

核家族化・都市化の進行

地域社会の変化  
(互助システムの弱まり、子どもへの関わりの減少)

子育てとの両立が難しい職場環境(母親の子育て負担)・・・など

## 子育て家庭の孤立

とくに専業主婦家庭では、母親が孤立してしまう「密室育児」の問題

県民意識調査にみられる「子育てをめぐる様々な不安」

- 経済的な不安
- 育児についての精神的な不安
- 母子の健康に対する不安
- 仕事との両立の不安

- 特に子育て不安が多い出産前後から3歳までの期間も、育児の専門家の支援を受けて安心して過ごすことができるように！
- 保育所が、親の働き方に関わらず、全ての子育て家庭に対し、出産前後から一貫してサポートできるように！

育児不安の軽減

「密室育児」の解消

## マイ保育園登録制度 (H17～)

- 妊娠中から身近な保育所等を「マイ保育園」として登録
- 妊娠中の育児体験
- 出産後の一時保育、保育士による育児相談

## 子育て支援コーディネーター (H18～、H20～全県配置)

- 保育士を「子育て支援コーディネーター」として養成  
～「子育て支援プラン」(介護保険制度におけるケアプランの育児版)を作成。  
～子育て支援サービスの利用を総合的にコーディネート

県が制度をつくり、市町の実施をサポート

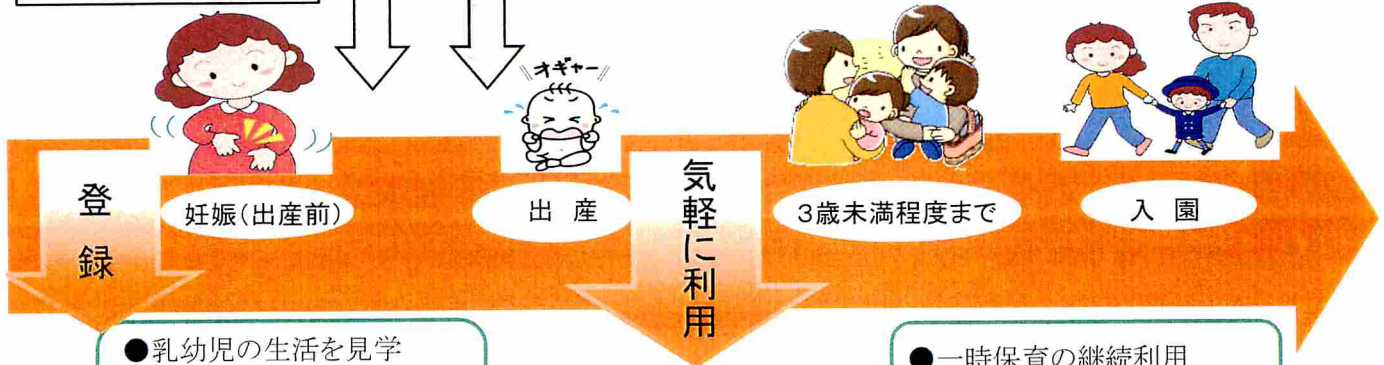
# マイ保育園登録制度

妊娠中から身近な保育所等をマイ保育園として登録し、妊娠中の育児体験、出産後の一時保育のほか保育士による育児相談の利用ができる。

## 市 町

母子健康手帳に登録票(「育児体験カード」)を添付

「一時保育利用券」を配布



- 乳幼児の生活を見学
- 育児体験 (おむつ替え、ミルク授乳、沐浴など)

- 一時保育の継続利用
- 保育士等による育児相談

## 身近な保育所等

### 育児不安の

地域の子育て支援の  
拠点に！

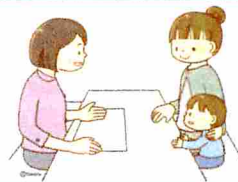
### 「密室育児」

- 子育て支援コーディネーターが「子育てプラン」を作成

- プランに基づく一時保育、育児教室等の利用

「子育て支援  
プラン」作成

「子育て支援  
プラン」に基づく  
サービス利用



## 子育て支援コーディネーター

保育士を「子育て支援コーディネーター」として養成  
～「子育て支援プラン」(介護保険制度におけるケアプランの育児版)を作成。  
～子育て支援サービスの利用を総合的にコーディネート

# 平成17年版 厚生労働白書(抜粋)

## ～地域の取組事例として紹介～

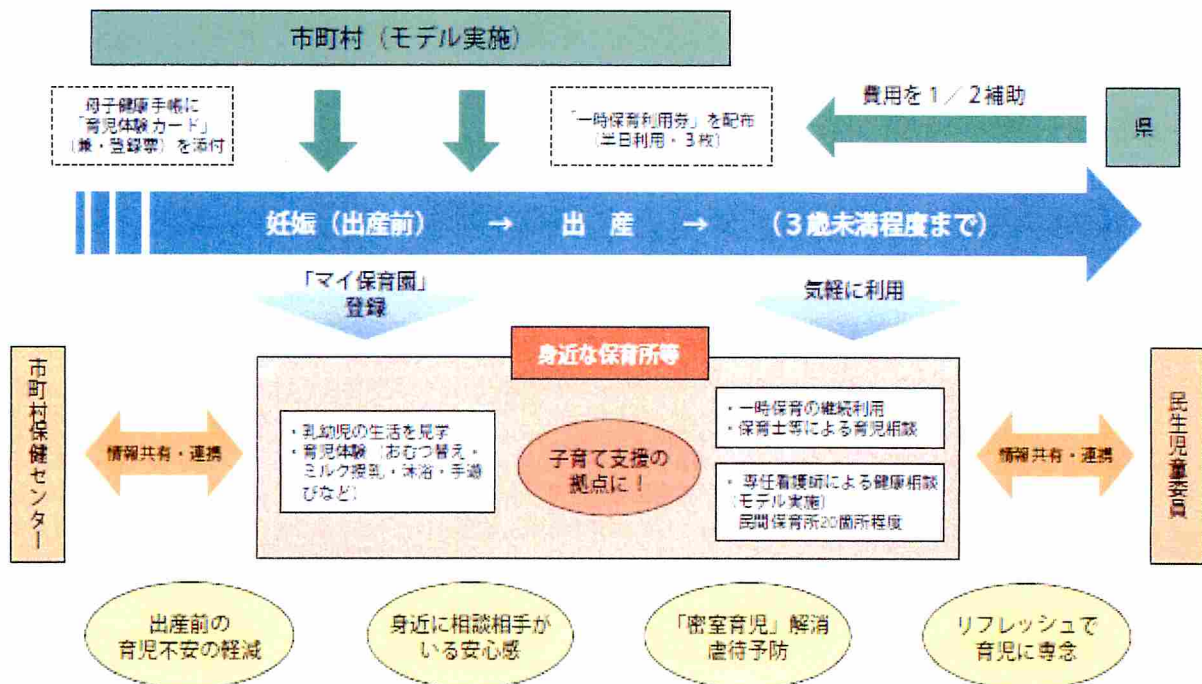
(保育所を子育て支援の拠点とするための促進策～石川県が実施する「マイ保育園」登録制度～)

石川県は、就学前の子育ての場として全国でも最も保育所を利用している地域である。この特性を利用して、家庭で子育てをする親にとっても利用しやすい保育所となるよう、母親の妊娠時に配布する母子健康手帳に「育児体験カード」を添付し、妊娠時から保育所で乳幼児の生活を見学したり、育児体験をしたりして、保育所に接してもらい、また、出産後も、一時保育の利用や保育士による育児相談などを気軽に行うことができる仕組みを2005（平成17）年度からモデル事業として取り組んでいる。

これにより、家庭で子育てをする親の存在を保育所が認識できるとともに、親にとっても気軽に相談できる保育所が近くにあることにより、出産前の育児不安の軽減や身近に相談相手がいる安心感、一時保育の利用によるリフレッシュでより育児に専念しやすくなるといった効果を与えることができると考えられている。

家庭で子育てをする親が孤立することのないよう、保育所を始めとした地域の子育て支援サービスで、個々人の子育て状況を的確に把握することが、児童虐待の防止にもつながるのではないかと考える。

図表2-3-36 保育所等の子育て支援の拠点とするための促進策  
～マイ保育園制度（モデル事業）の創設～



# 条例による「一般事業主行動計画」の策定対象企業の拡大(石川県)

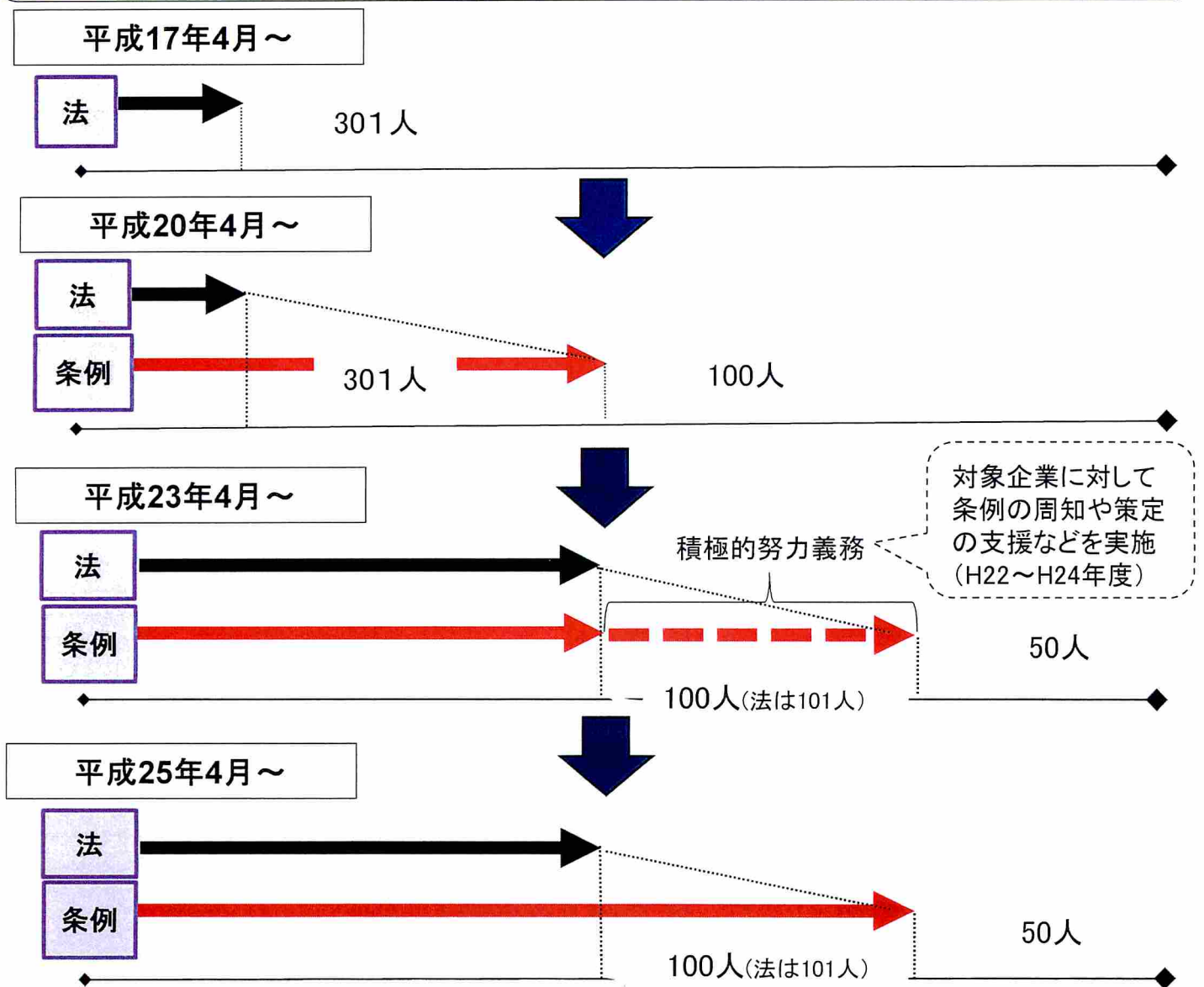
## 1 次世代法に基づく一般事業主行動計画の策定

次世代育成支援対策推進法(H17.4施行)により、企業(当初は301人以上、現在は101人以上)が従業員の仕事と子育ての両立を支援する「一般事業主行動計画」を策定

## 2 条例による独自の取組

石川県では、中小企業が多いことを踏まえ、計画策定対象範囲を条例(※)で独自に拡大。  
→ 当県が率先して取組を進め、これに国の制度が追い付いてくる形となっている。

※いしかわ子ども総合条例 (H19.4施行)…子育て支援、子どもの健全育成、子どもの権利擁護といった幅広い分野を包含



## 3 現状

条例により新たに対象となった企業(50～99人)においても8割を超える企業が策定  
～業界団体との連携、推進員の個別訪問などによる策定の支援  
～計画の実施に向けた取組(コンサルタントの派遣、セミナーの開催)

# いしかわ農業人材機構の取組について

## 〈奥能登地域の実態調査(H19)〉

- ・10年後に営農の継続が困難な農家 7割
- ・農業後継者がいない農家 9割

◆ 30歳前後で農業を志す者が多いが、既存の農業教育制度では人材育成は困難

## 財団法人いしかわ農業人材機構 (H21. 4設立)

※一貫したサポートを実施する全国で唯一の機関

- 〈体制〉 理事長: 谷本知事 職員: 県職員、JA職員等30名
- 〈出資〉 石川県、市町、農協連、農業開発公社、農業会議、農業振興協議会

**[初級]**  
新規就農支援

**[中級]**  
経営の拡大支援

**[上級]**  
経営の高度化支援

※就農から経営の安定・発展まで、各段階に応じたきめ細かな人材育成の支援

## いしかわ耕稼塾

● 就農希望者の多様なニーズに応えるため、各種コースを開講  
(「予科」「本科」「専科」「実践科」)

- 農業インターンシップや就農相談会の開催  
(参加42人中16人が就農・定住)
- 農地、資金調達など、各種マッチング
- 雇用事業等を活用し、法人就業を促進

・新規就農者数は、設立前に比べて、約3倍と大幅に増加 (30人→90人程度)  
※H24は135人で過去10年間で最多(約4倍)  
・近年は、法人就業が約7割  
→法人の雇用能力が拡大  
→非農家の就職先の1つとして定着

- 機構のコーディネーターと普及指導員の連携によるマンツーマンでの技術指導
- JA、市町と連携した農地集積支援



※現地での技術指導

● プロ農業者の経営能力向上のための各種講座を開講

- 若手後継者等を対象に「スキルアップコース」を開講  
コマツ(製造業)の生産管理ノウハウを研修で活用
- 新商品開発や新たな事業展開に向けたアドバイス  
生産者と需要者が個別商談を行う  
「県産食材求評懇談会」の開催



※スキルアップコース



※県産食材求評懇談会

## 【農業の応援団づくり】

- 県民(消費者)を対象とした農業体験セミナー等を開催
- 小中高校の教師や金沢大学の学生を対象とした農作業体験研修の実施



※農作業体験研修



※スイカ糖度測定

# 羽田乗継割引運賃設定区間

## 全国最多35区間に設定

### ◎小松～庄内間

・JR: 約6時間30分

運賃: 10,960円～14,510円

・AIR: 3時間5分

小松－羽田－庄内

通常運賃: 42,300円

乗継運賃最安値: 22,100円

### ◎小松～山形間

・JR: 約7時間30分

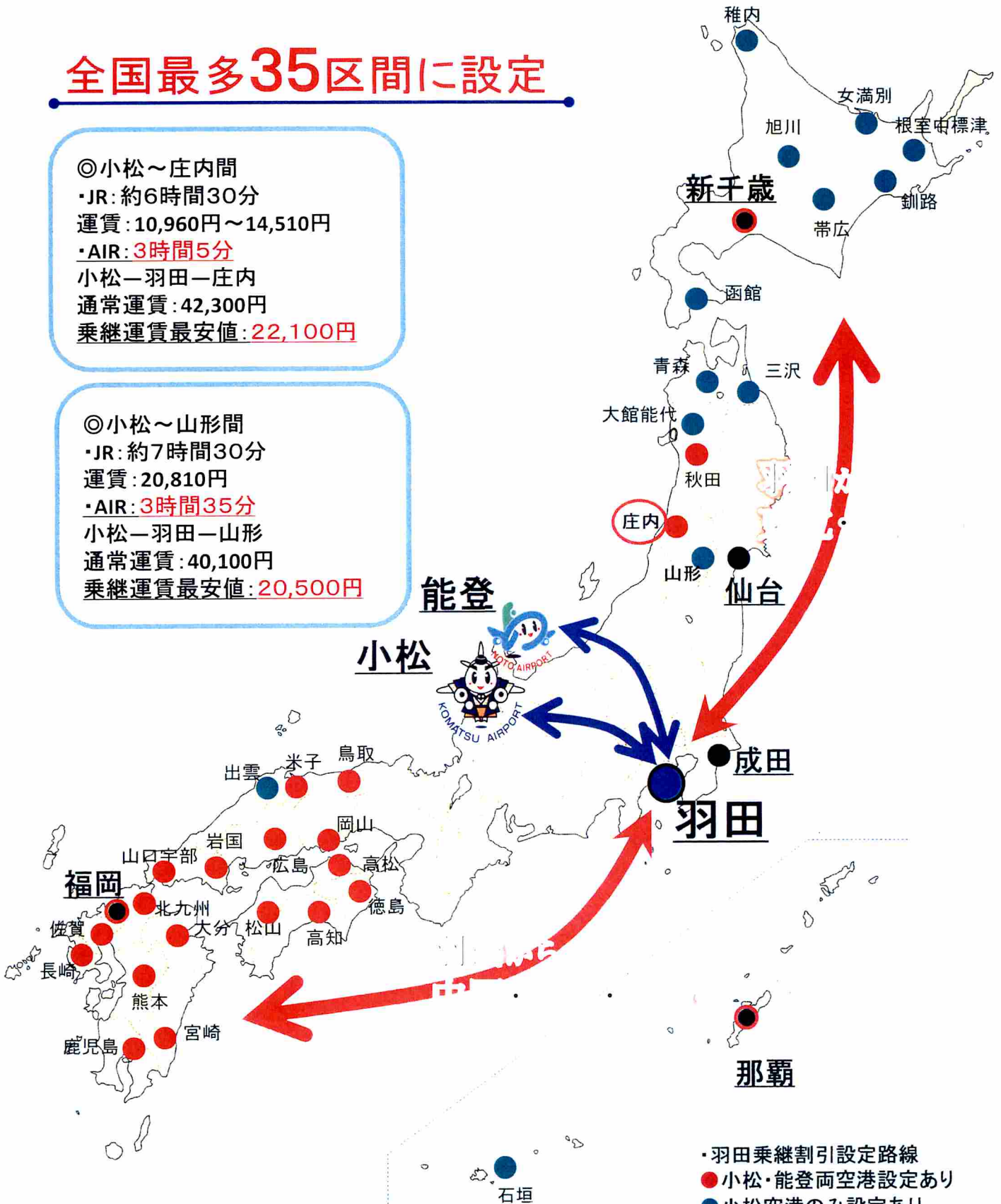
運賃: 20,810円

・AIR: 3時間35分

小松－羽田－山形

通常運賃: 40,100円

乗継運賃最安値: 20,500円



・羽田乗継割引設定路線

●小松・能登両空港設定あり

●小松空港のみ設定あり

●小松からの定期路線

(●定期路線+乗継割引路線)